

横浜市がスペイン・バルセロナ市で 「ワールドスマートシティ・アワード」都市部門を受賞!!!

～ 「World Smart Cities Awards」 ～

11月29日から12月2日までの4日間、スペイン国バルセロナ市で開催されたスマートシティエキスポ国際会議 2011※1において、横浜スマートシティプロジェクトなどの低炭素社会実現に向けた取組が高く評価され、横浜市がその会議が主催する「ワールドスマートシティ・アワード (World Smart Cities Awards)」※2を都市部門において受賞しました。また、副賞として15,000ユーロ(約150万円)をいただきました。賞金の使い方は今後有効な活用方法を検討します。

※1 スマートシティエキスポ国際会議 2011 (Smart City Expo & World Congress 2011) の概要

電力の自由化や再生可能エネルギーの大量導入が進むスペイン・バルセロナ市で開催された国際会議と展示会で、世界約30か国から200以上のスマートシティ関連企業や自治体などが参加し、持続可能社会の構築に向けて議論や情報交換が行われました。

横浜市は、横浜スマートシティプロジェクトの取組を高く評価され、バルセロナ市から本国際会議に招待されたため、中島徹也温暖化対策統括本部副本部長が出席しました。

※2 「ワールドスマートシティ・アワード」の概要

スマートシティエキスポ国際会議 2011 のコンセプトの発展に明確に寄与する都市、プロジェクトや解決策を表彰するために設立された賞です。

この賞は、世界銀行やヨーロッパの国際基金などの外部有識者からなる選定委員会が、19か国から100件以上の応募から決定し、部門は3部門。都市部門は横浜市、プロジェクト部門ではフランス・ニースの公共駐車場の交通管理プロジェクト、ソリューション部門では、スペインの民間会社による水管理システムが受賞しました。

【横浜スマートシティプロジェクトについて】

横浜スマートシティプロジェクト (YSCP) は、日本型スマートグリッドの構築や海外展開を実現するための取組として、経済産業省の「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に平成22年4月に選定されたプロジェクトです。本市と民間企業(アクセンチュア、東京ガス、東京電力、東芝、日産自動車、パナソニック、明電舎等)とで協働し、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの導入、一般世帯・事業者・地域でのエネルギーマネジメント、次世代交通システム等の各プロジェクトに取り組んでいます。

環境未来都市を目指す横浜

「環境未来都市」構想は、環境施策はもちろん、医療・福祉や産業振興など、様々な施策を進めることで、「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」の実現を目指すものです。今回の受賞に力を得て、国が募集している「環境未来都市」の選定を目指していきます。

お問い合わせ先

温暖化対策統括本部 調整課企画担当課長 林 総 Tel 045-671-2683